

令和5年度第4回 松江市公共交通利用促進市民会議

1 日 時 令和5年12月21日（木） 14時00分～16時20分

2 場 所 松江市役所 第2常任委員会室

3 出席者 別紙参照

4 内容

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 松江市地域公共交通計画の策定について

①計画の骨子（案）について

4 その他

5 要旨

1 開会

2 あいさつ

・松江市公共交通利用促進市民会議加藤会長があいさつをした。

3 議事

・別紙参照

4 その他

・別紙参照

1. 出席者名簿

出席者名簿

会員名	役職名	氏名	備考
学 識 経 験 者	米子工業高等専門学校教授	加 藤 博 和	
松江市公民館長会	会 長	三 宅 克 正	
松江市町内会・自治会連合会	常 任 理 事	白 石 照 雄	欠席
松江市高齢者クラブ連合会	事 務 局 長	松 延 由 子	
松江市身障者福祉協会	会 長	広 野 正 充	
松江市連合婦人会	会 長	万 代 悦 子	
松江市コミュニティバス利用促進協議会連絡会	会 長	長 野 正 夫	
松江商工会議所	専 務 理 事	松 浦 俊 彦	欠席
連合島根東部地域協議会	執 行 委 員	丸 山 武	
島根県旅客自動車協会	専 務 理 事	秦 日 出 海	
一畑バス株式会社	代 表 取 締 役	吉 田 伸 司	
松江市交通局	交 通 局 長	須 山 敏 之	
有限会社生馬タクシー	代 表 取 締 役 社 長	福 田 宏 二	
有限会社鹿島タクシー	代 表 取 締 役 社 長	物 部 淳 治	
西日本旅客鉄道株式会社	山陰支社山陰地域振興本部	手 島 雄 太	
一畑電車株式会社	営 業 部 長	野 津 昌 巳	
国土交通省中国運輸局島根運輸支局	首席運輸企画専門官	橋 本 健 司	
島根県松江警察署	交 通 総 務 課 長	松 浦 利 行	
松 江 市	都 市 整 備 部 長	井 上 雅 雄	

【株式会社バイタルリード】

代 表 取 締 役	森山 昌幸
総 合 計 画 部 長	宮下 和也
総合計画部 計画一課 係長	須山 侑子
総合計画部 計画二課 主任	原 雄一朗

【事務局】

松江市都市整備部	次 長	石 本 彰
都 市 政 策 課	課 長	服 部 広
交 通 政 策 課	課 長	山 崎 透
”	係 長	長谷川 文洋
”	副 主 任	深 田 将 平

2. 議事

(1) 松江市地域公共交通計画の策定について

① 計画の骨子（案）について

加藤会長

- ・ 住民ワークショップの実施状況について教えてほしい。
 - 市内3地区（大野・秋鹿地区、八束地区、古志原地区）を対象にワークショップを行っている。ワークショップの結果については、計画の資料編で共有する。

一畑バス

- ・ P38の「交通事業者により十分なサービスが提供できない地域における、住民や他分野との連携による移動サービスの確保」に「旅館の送迎バス等の活用」との記載があるが、旅館の送迎バスは、公共交通機関ではないので違和感がある。
- ・ P39(3)「新たなモビリティや技術の導入・検討」とあるが、電動キックボードの記載は必要なのか。個人所有の自転車等と同じ扱いではないか。
 - 電動キックボードは「中心市街地の回遊性向上に資する」ことが目的。様々な移動手段を活用して、移動を確保していくという意味で記載している。
- ・ P41の「処遇改善」のところで、「処遇改善」と「大型二種免許取得」を並列して記載しているのはいかがなものか。
 - 「処遇改善」については、全て対応できるものではないと思う。島根県主導の、島根の生活交通を考えるプロジェクトチームが立ち上がり、県や市町村、国が一緒になって考えていく必要がある。松江市として、「処遇改善」に関してできることはないかを考え記載した。具体的な書きぶりは今後検討したい。

連合島根東部地域協議会

- ・ 骨子案に様々な問題が整理されているが、松江市にとって一番必要なことは何か。利用促進も大切だが、路線を維持することが重要。一番必要なことは、松江市民の利便性の確保。最低限の利便性の確保が「戦略1」に来るべきではないか。事業の優先順位をどう考えているのか。
 - キープロジェクトとしてあげたものは、緊急度、優先度高く取り組んでいく必要があると考えているもので、優先順位をつけるのが難しいところ。計画策定を待たずして、取り組む必要があることもある。いただいたご意見を参考に、具体的な事業のスケジュールを示したい。

松江市交通局

- ・ キープロジェクトに独禁法の活用が出てくることに、唐突感がある。今あがっている問題と独禁法のつながりが見えにくい。記載の順番が違うのではないか。
 - 記載の順番について整理し、わかりやすく表記するようにする。

身障者福祉協会

- ・ 計画の実施主体は、あくまで松江市と交通事業者。予算の確保も、今後、相当厳しくなると思われるこの数年間で、具体的にどんなことに取り組むかが見えにくい。人口減少の影響や担い手確保も難しい。さらに島根県での自家用車メインの生活

はなかなか変わらないと思う。この数年で具体的にすることを明らかにしてほしい。計画に掲げる事業が全部実施できれば素晴らしいが、このままだと計画倒れになるのではと危惧している。

→ それぞれの事業のスケジュールについても確認したい。

松江市交通局

- ・ P37に「移動ニーズを踏まえた路線・ダイヤの見直し」とあるが、ニーズは把握しているが、人（担い手）が不足し対応できないのが実情である。
- ・ P40に「旅客需要を創出する運賃体系」とあるが、そのためには運賃を値上げして利用者に我慢してもらう必要がある。
- ・ 「タクシーの利用」との記載があるが、タクシー事業者は大変な状況。各交通事業者の現状を踏まえた内容に整理した記載が必要ではないか。

島根県旅客自動車協会

- ・ P36の「ライドシェア」について、タクシー事業者側からすると、ライドシェアには断固反対という話が出ている。ライドシェアの記載には、関係団体としては残念な気持ちである。
- ・ P38の「地域内交通再編・導入」で、「AI デマンド」という言葉がいきなり出てくるが、メリットばかりではないので、市内のタクシー事業者に配慮した記載・取組が必要。

鹿島タクシー

- ・ 全国的な人手不足の中、二種免許が無くてもタクシーを運転できる規制緩和の話も出ているが、正直、いかななものかと感じている。島根県にもライドシェアが入ってくるようになると、地元のタクシー会社は廃業せざるを得ない。交通事業者にも配慮いただき、市民の足を確保してほしい。

一畑バス

- ・ AI デマンドの運賃など、地域で交通サービスに差があることは大きな問題で、地域住民にとっては不公平であることを、承知しておいてほしい。

JR 西日本

- ・ 12月15日に、来年のダイヤ改正について報道発表を行った。改正ダイヤは現状を基本としており、復便にまでは至っていない。鳥取県東部では、バス事業者と鉄道事業者が協力して共通パスの実証実験を行っている。みどりの窓口を廃止し、WESTER や tabiwa に力を入れる方向で進めている。ダイヤの検索や予約をアプリでできるように、いつでもどこでも、駅に行かなくてもきっぷを買えるようにしたい。

一畑電車

- ・ これまで減便は行っていないが、終発時刻の繰り上げなどは実施してきた。現在、利便性向上のためのダイヤ改正を検討中。始発・終発時刻は変更しない予定。一畑電車では、現在は運転士を確保できているが、例えば伊予鉄道など、全国的には運転士が不足し、減便せざるを得ない状況にある。駅員の確保も困難で、出雲大社前

駅では、早朝と夜間を無人化している。公共交通の利用促進を図る上で、まずは人（担い手）の確保が重要。

松江市高齢者クラブ連合会

- ・ 公共交通は、特に高齢者にとって必要な移動手段。交通事業者の体力的なことなど、現状がどうなのか、もう少し詳しくみていく必要があるのではないかと。

松江市身障者福祉協会

- ・ バリアフリー化を進め、みんなに優しい公共交通を実現してほしい。障がい者にとっても、公共交通は大切な移動手段。

松江市連合夫人会

- ・ 普段は車で移動しているが、住んでいる地域の公共交通が便利になってきたように感じる。自家用車も便利だが、時には公共交通を利用することも大切。心の余裕が出てくると公共交通の利用も増えるのではないかと。

松江市コミュニティバス利用促進協議会連絡会

- ・ 八束地域の AI デマンドバスの利用者数が、従来のコミュニティバスの 1.7 倍になっているとあるが、タクシー事業者からすると、これは死活問題。AI デマンドバスを運行又はこれから導入しようとしている地域では、地域のタクシー事業者への配慮が必要。

島根県松江警察署

- ・ 交通事故の防止が一番の目的であり、運転免許証の自主返納支援に力を入れている。交通事業者の負担が少なく、返納を後押しできるような取り組みが必要。

松江市都市整備部

- ・ 計画に目を通した市民に安心してもらえることが一番大切。そのためにも、全体的なスケジュールを示しておく必要があるのでは。

島根運輸支局

- ・ いかに公共交通を持続可能なものにしていくかが重要。関係者間で協議をして、松江市の公共交通を守っていくことができる計画をつくってほしい。

生馬タクシー

- ・ AI デマンドの実証実験・導入によって、廃業せざるを得ないタクシー事業者が出てきている。グリーンスローモビリティの導入も、当初は団地内に限ると聞いていたが、運行エリアが拡大している。グリーンスローモビリティの車両は、簡素な構造でできており、万が一、事故が発生すると大変なことになる。AI デマンドを他地域でも導入されるとタクシーの仕事が無くなってしまふ。コロナ禍もあって大変な状況にあるが、それに追い打ちをかけることにもなりかねない。

三宅副会長

- ・ ライドシェアについては、規制緩和により令和 6 年 4 月から全国の一部地域で解

禁される見込みと聞いている。公共交通を取り巻く状況は刻一刻と変わっている。交通事業者の考えを聞きながら、松江市の将来を見据え、利用者のためになるような計画にしてほしい。

3. その他

連合島根東部地域協議会

- ・ 11月に、市長自ら松江駅前に立ち、ノーマイカーデーについてPRしていたが、当市民会議では、何か取り組みをすることは考えてはいないのか。
 - 当市民会議の主な目的は、公共交通の利用促進。ノーマイカーデーのような、公共交通の利用促進に資する取り組みも、引き続き行っていきたい。

以上